

一般社団法人 大阪府病院薬剤師会 2021年度事業計画書

I. 事業活動方針

会員の学識的及び社会的資質向上を図り、地域住民の医療と健康を守るなどの公益性の高い事業を実施する。また、患者の不利益回避を目的とした医療機関全般にわたる医療安全対策を検討し、その実践に関する啓発活動を実施するとともに、薬学的知識を駆使し、チーム医療の推進と地域医療への貢献という課題に対応していく。特に、地域包括ケアシステムとの関連性を踏まえた病診薬連携を含む薬剤師業務の在り方および地域における災害対策について、自らが考えて行動でき得る知識取得と各方面と協働できるような体制作りの検討、基礎となる臨床薬学の研鑽などの事業を実施する。新興感染症などによる社会及び医療情勢の変化に対応すべく、ICTを活用した事業展開方法や研修会開催におけるシステム導入を検討し、安定した事業を継続できるよう体制構築を進める。

II. 事業内容

1. 臨床薬学の教育と研修に関する事業

臨床薬学の基礎知識をはじめとした研修会、講演会、講習会、シンポジウムなどを開催することにより、専門家としての病院・診療所に勤務する薬剤師の資質向上をはかるとともに、広く府民に啓発活動を行う。

ア. 新入局薬剤師研修会の開催

新しく病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、病院・診療所薬局業務、臨床薬学に関する講義及び病院見学を行う。

1. 回数 7日間 (予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 200名(予定)

イ. 中堅薬剤師研修会の開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、次世代を担う中堅層に必要なテーマで研修会を開催する。

1. 回数 1回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約 120名 (予定)
3. 開催時期 2021年11月 (予定)

ウ.) ファーマシーマネジメントセミナーの開催

指導的立場にある薬剤師への情報提供及び実践する際の問題点の整理を行う。

1. 回数 1回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約 150名 (予定)
3. 開催時期 2022年2月 (予定)

エ. 研修講座シリーズの開催

臨床現場で実践的知識として有用な講習会をシリーズで開催する。

1. 回数 3回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約 500名(予定)
3. 開催時期 2021年6月
2021年9月
2022年3月 (予定)

オ. 実務セミナーの開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、実務スキルの向上や新たな業務展開の一助を目的に研修会を開催する。

1. 回数 2回 (予定)
2. 対象人員 薬剤師、約 300名 (予定)
3. 開催時期 2021年8月、2022年2月 (予定)

カ. 患者支援業務に従事する薬剤師に対する研修会の開催

薬物治療中の患者支援により、地域医療を視野に入れた薬剤師を養成するための研修

会を開催する。

1) 薬物療法と患者ケアのセミナー

新薬情報、病態に基づく最新の薬物治療のセミナー

1. 回数 1回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100名(予定)

2) 日常業務なんでも相談会

服薬支援業務に必須の知識とスキルの習得やマネジメントを検討する相談会

1. 回数 1回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50名(予定)

3) 症例から学ぶ会

患者アウトカムの貢献に向けて、薬物療法の課題を共有し、機能を越えた医療連携で患者支援を検討する会

1. 回数 1回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 60名(予定)

4) 医療情報の使い方セミナー

患者ケアに向けた行動計画に必要な医療情報を知り、その使い方を学ぶセミナー

1. 回数 1回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100名(予定)

キ. 小規模病院研修会の開催

比較的小さな規模の病院、施設、診療所に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の業務支援を目的に研修会を開催する。

1) 小規模病院研修会

1. 回数 2回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 150名(予定)

ク. チーム医療推進研修会の開催

「チーム医療」に関わる業務を遂行するにあたり、臨床現場で実践的知識として有用で必要な情報・技能・知識を提供すべく講習会を開催する。

1. 回数 3回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 300名(予定)

ケ. 精神医学、精神薬学に関する講習会の開催

主に精神科病床や外来を有する病院に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の臨床の場に役立つ講習会の開催

1. 回数 4回(予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 320名(予定)

コ. 病院・診療所薬剤師業務の推進・支援を目的とした出版物等の企画・編集・発刊

「2021年度版 新入局病院診療所薬剤師研修テキスト」の編集・発刊、その他にも新たな出版物等の企画、出版等を行う。

2. 薬学教育における実務実習受入のための体制整備・充実に関する事業

薬学部学生の実務実習受け入れ体制の整備と充実を図るため、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構および薬科大学(薬学部)との連携、実務実習指導薬剤師の養成事業並びに啓発活動を行う。

ア. 薬科大学(薬学部)との情報交換

イ. 実務実習指導薬剤師の養成・確保のための啓発活動

ウ. 実務実習指導薬剤師の養成事業(座学講習会 講座 ①、②、③)

1. 回数 2回(予定)

エ. 実務実習指導薬剤師の更新講習会の開催(座学講習会 講座 ④)

1. 回数 2回(予定)

3. 専門性の高い薬剤師育成のための事業

認定薬剤師及び専門薬剤師取得を目指す会員への知識習得の補助となる講習会を開催して、特定の専門分野に知識・技術を深く修めた薬剤師を育成し、地域医療並びに保健福祉医療の向上に寄与する。

ア. 認定薬剤師及び専門薬剤師育成のための講習会・ワークショップの開催

1. 回数 講習会 9回 ワークショップ 2回 (予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 900 名 (予定)

4. 医薬品の安全性・有効性の確保並びに適正使用のための情報の収集と評価・伝達に関する事業

学術情報委員会が開催する新薬調査会で医療用医薬品の情報収集と評価の確認を行い、その調査事項を広報誌『O.H.P.NEWS』に掲載するとともに、医療用医薬品の安全性に関する情報、適正使用の情報などの伝達を行う。また、医薬品情報の収集・評価・提供に関する研究を行う。

ア. 新薬調査会を年 11 回開催

イ. 医療用医薬品の安全性に関する情報提供及びそのための研究

ウ. 医療用医薬品の適正使用、安全性確保のための情報伝達の企画

エ. 医療用医薬品の副作用調査

5. 患者の不利益回避に関する事業

安全な薬物療法を提供するために、薬剤師として必要な情報の提供、学習会の開催など、会員へのフィードバックを行う。また、各施設での医療安全上の対策に関する相談の応需、製薬会社との意見交換を行う役割を担い、必要な情報を会員向けに発信する。

ア. 医療安全研修会の開催

1. 回数 2回 (予定)

薬剤師の医療安全に関する知識の底上げをはかる目的で、医療の質の向上と安全（特に薬剤関連事故防止を中心に）をテーマにした研修会を開催する。

各施設において医療事故防止のためにリーダーシップをとれる薬剤師を育成する。

インシデント・アクシデント報告の重要性について認識を深める。

イ. 医薬品安全管理責任者等交流会の開催と業務支援

1. 回数 1回 (予定)

各病院・診療所で任命された医薬品安全管理責任者等交流会を開催し、医薬品の安全使用のための具体的な方策について情報交換を行う。

2. 医薬品安全情報発信のためのツールの提供

各施設で開催している医薬品安全研修会に関する資料を収集し、その概要をデータベース化し、提供する。

医薬品安全に関する情報を他職種や施設内で活用できる形式にまとめた「医療安全お役立ち情報」を O.H.P.NEWS・ホームページに掲載する。

ウ. 医療事故の原因を見極め、再発防止策の提案ができる薬剤師の育成

危険予知トレーニング (KYT) などリスク感性を高めるための訓練や、根本原因分析 (RCA) 等の手法を用いた事故事例分析の研修会を開催する。

エ. 病診薬連携の推進と他職種との情報交換 (各種委員会と連携)

病診薬連携による医療事故防止対策について具体的に推進する。

オ. 医療安全のための相談窓口としての役割と医療事故防止のためのツールに関する調査・研究 (各種委員会と連携)

6. 地域医療・地域保健での薬事指導・啓発に関する事業

独自の「府民くすり相談会」の開催並びに府内各地で開催される地域健康展への参加に加え関係団体からの講師派遣など協力要請に積極的に対応する。また、大阪府「薬と健康の週間」事業へ協賛するとともに、独自の医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動を行う。

講演会、くすり相談会、各種パンフレット配布など

ア. 「府民くすり相談会」の開催

1. 回数 1回(予定)

2. 対象 大阪府民

イ. 関係諸団体と連携し各種イベントに協力

公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会に協力

ウ. 大阪薬科大学が開催する市民講座に協力

主にくすり相談を実施、病院・診療所での勤務の経験を生かした医療用医薬品、サプリメントの適正使用に関する啓発活動を行う。

1. 回数 2回(6月頃と11月頃の予定)

2. 対象 大阪府民

エ. 貝塚市が開催する市民健康まつりに協力

大阪府薬剤師会と連携して、くすり相談を実施することで、医療用医薬品等の適正使用に関する啓発活動を行う。

1. 回数 1回(10月頃の予定)

2. 対象 大阪府民

オ. 「薬と健康の週間」事業への協賛と医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動

大阪府内「薬と健康の週間」事業への協賛に加え、参画する。関係諸団体と協調し、医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動に協力する。

カ. 服薬遵守に支障がある者に対する医薬品の適正使用の啓発

高齢者、視聴覚障がい者、精神障がい者などに対して、医療用医薬品の適正使用に関する啓発と支援活動を行う。

キ. インターネットのホームページによる情報提供

ホームページを介し、会員および府民に医薬品の適正使用に関する情報を提供する。

7. 麻薬・向精神薬並びに取扱において特に注意を要する医薬品の適正管理に関する事業

麻薬及び向精神薬取締法、医薬品医療機器等法、薬剤師法などの関係法規遵守の指導講習会の開催及び同法に関する事項の調査・研究を行う。

ア. 麻薬及び向精神薬取締法等に基づく管理指導講習会

行政担当者による指導・啓発により、麻薬及び向精神薬取締法等関係法令の遵守と麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の規制対象医薬品の適正な管理、取扱いを周知する。

1. 回数 1回(2021年9月予定)

8. 臨床薬学などについての広報に関する事業

本会が積極的に推進する臨床薬学等に関する各種活動から得られる成果をより広く活用させるための事業を行う。

ア. 広報誌『O.H.P.NEWS』の発刊

1. 内容 随筆、新薬の紹介、業務資料、各部各委員会の調査・研究の成果発表、研修会・講演会などの催し連絡等

2. 発行部数 年11回 毎回 4,300部

3. 配布先 会員、国会図書館、関係官庁及び関係諸団体など

9. 薬物治療を中心に地域医療連携を推進する業務に関する事業

一般社団法人大阪府薬剤師会との共催で実施。あらゆる医療施設間同士の連携を想定し、急性期・慢性期疾患の薬物治療を双方向で安全かつ適正に服薬管理できる情報を収集するための調査を行う。地域医療連携を推進するための研修会の開催を行う。

ア. 地域連携の推進に関する研修会等を開催する。

1. 回数 3回(予定)

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約450名(予定)

10. その他目的を達成するために必要な事業

ア. 薬剤師の医療倫理に関する事業

- 1) 高い倫理観を維持し業務実施できる薬剤師用の啓発資料作成

イ. 病院・診療所薬局業務の拡充と管理運営の向上に関する事業

- 1) 病院・診療所薬局業務に関する調査・研究

- 2) 社会保険制度に関する研修・調査

- ・今後の診療報酬改定に向けての要望を取り纏め、日病薬の病院薬剤部門現状調査データを分析・解析を行い今後のエビデンス作りに役立てる

- ・上記内容を踏まえた研修会の開催（1回）

- 3) 薬剤師及び薬事に関する諸制度の調査・研究

- 麻薬及び向精神薬取締法の遵守と管理、取り扱いの周知

- 薬事関係法令の調査・研究

- 4) 精神科病院における薬剤師業務に関する調査・研究

- 府内の精神科病床を有する病院において、適正処方、ポリファーマシー対策等に向けたチームでの取り組みと精神科薬物療法認定薬剤師・精神科専門薬剤師の育成

- 5) チーム医療推進に関する調査・研究

- 6) 病院・診療所の外来などにおける患者支援業務に関する調査・統計の検討と業務支援に

- つながる活動の企画

- ・情報交換会の内容の記録・資料化

- ・会員のニーズに合った勉強会開催の検討

- 7) 医療事故防止のためのツールに関する調査・研究

- 8) 研修制度の充実と将来的活用に関する調査・研究

- 9) 薬剤師業務全般に関わる相談窓口（Q&A）の設置

- 10) 医薬情報活用能力の向上を目的とする研修会の開催

- 11) 患者臨床データを薬学的管理に活用するための技術向上を目的とする研修会の開催

- 12) 災害時に対応できる知識取得と協力支援体制の構築

- 13) 大阪府病院薬剤師会の運営に関わる業務量調査

- 負担軽減・効率化を図るためのタスクシフトの検討

ウ. 関係諸官庁・諸団体との連絡強化に関する事業

エ. 法規通達などの周知徹底の整備に関する事業

- 1) IT 利用により会員施設へ法規通達などを伝達する機能整備に関する研究と推進

- 2) ファクシミリ同報システムを用いた情報提供の充実

- 3) インターネットによる情報伝達に関する調査・研究やその整備・保守に関する活動

- 4) 当会で運営しているインターネットおよび各種委員会メーリングリスト等を継続してより安定した環境整備を行う。さらに、ホームページを用いたアンケート等に関しても安定した環境・保守のための調査・研究を行う。

オ. 会員の親睦、福祉の向上、並びに会員増加に関する事業

- 1) 入会・退会手続きの簡素化を進める。

- 2) 個人情報の適正な管理を行い、会員名簿の作成を行う。

- 3) 未加入施設に入会を働きかける。

- 4) 小規模病院、精神科病院などにおける薬剤師確保のための方策を検討する。

- 5) 就職セミナーなどを活用し、病院薬剤師の魅力を発信する。

カ. 日本病院薬剤師会近畿ブロック会活動に関する事業

- 1) 日本病院薬剤師会近畿ブロック会各種委員会の開催及び委員派遣

- 日本病院薬剤師会近畿ブロック会に属する中小病院および診療所における問題点について情報・知識を交換し、シンポジウムの開催、実態調査を実施する。

- 2) 日本病院薬剤師会近畿学術大会への協力

キ. 各種学会・研修会等への協力に関する事業

- 1) 全国診療所薬剤師協議会活動への協力

2) 薬科大学主催の卒後教育講座等への後援

ク. 財務に関する事業

- ・年会費徴収方法変更後の会費滞納者への徴収方法の検討。
- ・備品の購入検討や保管に関わる作業。

ケ. 支部活動

本会の目的及び事業遂行のため、各支部において学術研修会及び地域での薬事衛生講習会等を開催する。